

長崎県建築鉄骨研究会 平成25年度技術研修会

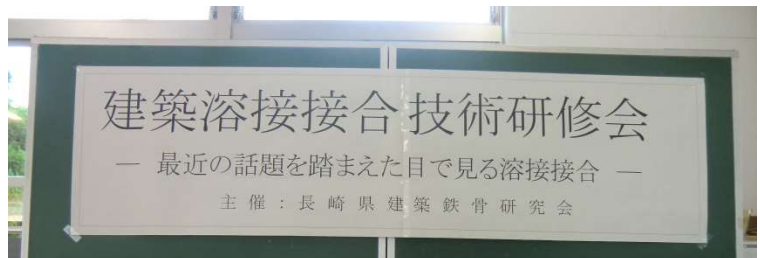
建築溶接接合技術研修会

— 最近の話題を踏まえた目で見える溶接接合 —

1. 日時：平成25年11月12日（火）14：00～17：00
2. 場所：長崎県立長崎高等技術専門校 技能・技術向上支援センター
長崎県西彼杵郡長与町高田郷547-21
3. 主催：長崎県建築鉄骨研究会
4. 研修会参加者：60名 行政・設計者・施工者・製作者・大学生ほか
5. 建築CPD2単位認定プログラム講習会 （鉄骨研究会事務局末永レポート）

【研修会の目的】

各種基準や新しい施工方法が生み出されている中、溶接接合部の品質確保に向け、接合方法の特徴や注意点について実際の溶接を見学することで基本的な知識を得て、今後の設計・設計監理や施工及び施工管理に生かし、安全な建物の建築に役立てていくことを目的とする。



開会の挨拶 長崎県建築鉄骨研究会 修行 稔会長（長崎大学名誉教授）



長崎県建築鉄骨研究会 修行 稔 会長



修行会長より、来年1月で創立5周年となる当会の設立趣旨、また各年の事業実施にご協力いただいた各会員、関係団体への謝辞が述べられた後、「本日の技術研修会では、特に柱と梁の溶接接合部の性能と品質を確保するための各工法や特徴をご理解いただくことを目的としている。本日は、行政、設計、施工、製作の各分野から多数ご参加下さっており、主催者として深く感謝申し上げたい。本日の研修会が皆様に有益な情報を提供する場となることを願っている」と挨拶がなされた。



司会進行：鉄骨研究会専門委員
久松 好己氏（(株)PAL構造）

鉄骨研究会専門委員会 成田 康雄委員〔(協)長崎県鉄構工業会〕より、資料に基づき説明。



研修内容解説：鉄骨研究会専門委員：
成田 康雄氏(永田鉄工(株))

スカラップ加工状況動画上映

- ◆ 見学会内容説明(2班に分かれることや、注意事項など)



—14:45 見学開始—

会場を、同校の技能・技術
向上支援センター1F実習室
に移し、1班・2班に分かれて
見学を開始。



第1班

- ① テストピースによる、スカラップ形状の違い確認
- ② テストピースによる、鋼製タブと代替タブの違い確認
- ③ テストピースによる、裏当て金形状の違い確認
- ④ 鋼製タブでの溶接実施状況の確認
- ⑤ 代替タブでの溶接実施状況の確認
(* 溶接一層目からの各層ごとの状況を確認、説明)
- ⑥ 双方の溶接終始端部の確認
- ⑦ 鋼製タブ切断、仕上げ作業状況の確認

